

平成 30 年度鳥栖市環境審議会 議事録

- 【日 時】 平成 31 年 3 月 27 日（水）午後 3 時 00 分～午後 4 時 10 分  
 【場 所】 市役所 3 階大会議室  
 【議 題】 1. 第 2 次鳥栖市環境基本計画の進捗状況について  
 2. 鳥栖市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）について  
 3. 鳥栖市災害廃棄物処理計画の策定について  
 4. その他  
 【出席委員】 宮島会長、藤田副会長、徳淵委員、今村委員、境委員、増田委員、杷野委員、木村委員  
 【事務局】 佐々木課長、川原主任、井上主事

議 事 録

事務局	— 議題 1. 第 2 次鳥栖市環境基本計画の進捗状況についての説明 —
委員	居住している地域において、最近、林や道端での不法投棄が減ったように感じているところだが、何かしらの取組に力を入れているためか。
事務局	<p>【議題 1－資料 2】でもご報告させていただいているとおり、不法投棄防止パトロールを定期的実施していることと、不法投棄を発見したら市に連絡するという空気づくりが浸透してきているためではないかと認識している。</p> <p>実際に市に不法投棄の連絡があった場合は、ただちに現場確認を行い、場合によっては警察とも連携して、指導等を行うなど取り組んでいるところである。</p> <p>また、市では不法投棄防止の看板等を設置する取組を行っているほか、鳥栖市環境保全協議会では、不法投棄を抑止する効果が期待される鳥居を模した看板を今年度製作して設置するなど、啓発等にも取り組んでいることから、そのような取組が成果としてあらわれているのではないかと認識している。</p>
委員	<p>【議題 1－資料 2】について、平成 29 年度の実績の中に、「未実施」とされているものが散見される。これは、どのような理由により「未実施」とされているのか。</p> <p>例えば、資料 3 ページの「浄水場見学会」、資料 5 ページの「長崎街道まつり」、同じく資料 5 ページの「景観啓発講演会」、資料 9 ページの「環境マネジメントシステム説明会」が、未実施になっていると思うが、それぞれ理由を説明していただきたい。</p>
事務局	<p>資料 3 ページの「浄水場見学会」については、平成 30 年度まで工事をしているため見学会を実施することができなかったもので、平成 29 年度の実績報告としては「未実施」としている。なお、平成 31 年度からは実施する予定としている。</p> <p>資料 5 ページの「長崎街道まつり」については、平成 29 年度は雨天中止となっており、致し方ないと認識している。</p> <p>「景観啓発講演会」については、講演会を実施する対象を設定することが難しく実施できていない状況が続いているところである。こちらについては、他の方法で事業の目的にかなう取組ができないかなどの改善策について担当課と議論したいと考えている。</p> <p>資料 9 ページの「環境マネジメントシステム説明会」については、残念ながら実施できていない状況であるが、現在、国では、中小企業への環境マネジメントシステ</p>

	<p>ム導入支援を行う団体等への補助金を創設するなど、普及に向けた取組を行っていることから、このような団体等と連携するなど、市として、環境マネジメントシステムについて説明する場を設ける方法について知恵を絞っていく必要があると考えている。</p>
委員	<p>やむを得ず実施できなかった事業もあれば、もう少し工夫をする必要がある事業もあるようなので、引き続き取り組んでいただきたい。</p>
委員	<p>【議題1－資料2】6ページの「不法投棄防止パトロール」について、前回の事業評価欄に、不法投棄発見件数は前年度より8件増やすことができたとの記載があるが、この事業は不法投棄を減らすための事業であるにも関わらず、件数が増加して良かったとも取れる評価になっているように感じる。</p>
事務局	<p>前回の事業評価欄は、前回の会議で報告した際の評価であるが、ご指摘のとおり誤った認識を与えかねない評価となっているため、今回の報告である平成29年度末の事業評価欄では「前年度より7件増加した」と表記しており、その表現を改めたところである。</p>
委員	<p>【議題1－資料2】1ページの「人生記念樹の贈呈」の事業評価について、「少子化により申込者が減少しているのが課題である」とあるが、集合住宅にお住まいの方から、記念樹をいただきたい気持ちはあるが植える場所がないというお声を聞くことがある。</p> <p>また、ベランダなどで育成できるつつじなどの小ぶりの樹木に変更してほしいというお声も上がっているため、そのようなことができないか検討していただきたい。</p>
事務局	<p>集合住宅にお住まいの方など、植樹がしづらい環境で生活されている方への対策については、ご意見いただいたように、小ぶりの樹木に変更することができないかなどについて担当課と協議していきたいと考えている。</p>
委員	<p>【議題1－資料2】8ページの「路線バスの利用促進」、「ミニバスの利用促進」について、事業評価で交通渋滞が緩和されているととれる記載があるが、実際に数値などで交通渋滞が緩和されているという結果が出ているのか。</p> <p>個人の感覚としては、交通渋滞がそんなに緩和されているという印象は受けないし、路線バスなどの利用実績が伸びているのであれば、交通渋滞が緩和されている実感があればおかしいのではないかと思うがどうか。</p>
事務局	<p>ご指摘の評価手法については担当課に確認を行うこととしたい。</p> <p>定量評価でないのであれば表現を改める必要があると考えるため、その場合は、次の審議会において表現を改めて報告したいと考えている。</p>
委員	<p>定量的な評価と主観的な評価があるため、できるだけ客観的な評価とすることが好ましい。</p>
事務局	<p>— 議題2. 鳥栖市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）についての説明 —</p>
委員	<p>【議題2－資料】2ページの環境出前講座について、小学生にどのような講座を实</p>

	<p>施したのか。</p>
事務局	<p>まず、地球温暖化のメカニズムについての説明を行い、日々の生活を送るうえでの行動が CO2 の排出につながっているということ、日々の生活で気を付けることが地球温暖化対策につながることを伝える講座の内容となっている。</p> <p>また、講座を実施した後は、学校の協力のもと、児童が家庭で取り組んだ節電行動の結果を報告する『エコチャレンジ』を実施しており、一体的な環境教育を行っている。</p>
委員	<p>ミニバスの利用者数は増加しているのか。</p>
事務局	<p>議題 2 の環境基本計画の事業評価でもご報告しているとおり、利用者数は増加傾向にある。</p>
委員	<p>【議題 2 - 資料】 1 ページにあるとおり、地球温暖化対策実行計画（区域施策編）において鳥栖市の CO2 排出量の目標を定めているが、実績の増減理由が原子力発電所や火力発電所の稼働状況による排出係数の変動によるものとされている。</p> <p>取組によって左右する目標の設定になっていないのであれば、目標年度を設定しなおすか、目標設定の仕方を考える必要もあるのではないかと感じた。</p>
事務局	<p>本市の地球温暖化対策実行計画の区域施策編は、1990 年度を基準として目標を設定している。</p> <p>国では、2013 年度を基準とした地球温暖化対策計画により取組を進めており、また、佐賀県も国の計画に準じて 2013 年度を基準とした計画の改定を平成 29 年度に行っている。</p> <p>本市の計画も、国や県の計画を踏まえた改定について検討を行っているところであるが、環境基本計画と地球温暖化対策実行計画が密接に関連しあうことから環境基本計画と地球温暖化対策実行計画を一体として策定・改定することが可能となっており、実際にそのような計画を策定している自治体も増えてきているため、本市でも環境基本計画と地球温暖化対策実行計画が一体となった計画の策定作業を行いたいと考えており、平成 33 年度中に改定を行う予定の次期環境基本計画に合わせて、環境審議会での意見を頂戴しながら、地球温暖化対策実行計画の基準年度や目標設定について検討を深めていきたいと考えている。</p>
委員	<p>【議題 2 - 資料】 3 ページにある再生可能エネルギーの普及促進について、バイオマスの促進が報告されているが、再生可能エネルギーには太陽光発電や風力発電など様々ある。</p> <p>最近、電力会社が太陽光発電の電気を買わないといった話があるが、再生可能エネルギーへの移行については社会の動きが大きく影響しているため、再生可能エネルギーにどのように移行していくか考える必要があると思う。</p> <p>例えば、身近なところでいうと、電気自動車が急速に普及をしていて電力の需要が増える要因となっている。</p> <p>そういうことを踏まえた方向性を示すなどしてもらえると審議会でも議論が進みやすくなるのではないかと。</p> <p>国が取り組むことだからタッチできないというのではなく、何かアプローチできないかということも考えていただきたいと思います。</p>

事務局	— 議題 3. 鳥栖市災害廃棄物処理計画の策定についての説明 —  (質疑なし)
-----	------------------------------------------------